

2017 年 ORC ルールの主な変更点 2017/03/06 更新

1. ハル計測の最上部の規定を修正した

従来はハル off ファイルの最上部をシアーポイント(シアーライン)としてきたが、ブルワークがフェアな連続したラインを形成している場合はブルワークの上まで描くと修正した。

それに伴い、用語として“シアーポイント”が消えて、“トップポイント”及び“フリーボードポイント”の用語に書き換えられた。また、フリーボードポイントは、移動して定義出来ることも明記された。その場合、写真や図解で示されることもある。IMS Rules B2.2, B2.3, B2.4, B5.3, B5.4, B6.6, B6.7, B6.8, F1.5

2. フローテーション計測時のスピンプールやスピリットの位置はレース時の UPWIND の状態と明記された IMS Rule B4.1(f)

3. センターボードの計測で、KCDA の測り方が明確にされた IMS Rule C2.3

4. P=Mainsail luff distance という表現になった IMS 2.1

5. Upper leech point を seven-eights leech point と表記を変えた 内容は変化ない IMS G1.4

6. SetFlying のヘッドセイルは”フォアステイに付いていないセイル”と明確化 Set Fling を ERS(G.1.2)で“rig”としているところを“forestay”と明確化している。IMS G1.7

7. フライングで展開する LP110%J 以下バテン無しのヘッドセイルの取り扱いが変わります

- 揚力係数を修正している。ORC 111.4(c)から削除された。(これは Vpp の中の処理)
- セイルインベントリーへの記載に関しての義務がなくなった。ORC 304.1(c) ii)から削除。

8. 旧 Rule 205. 3を削除 ライフラインのたわみに関する件

9. レース時のセイル最大搭載枚数の規定は GPH から CDL を採用した

CDL	Above 17.00	17.000 – 11.501	11.500 – 9.651	Below 9.651
Mainsail	1	1	1	1
Headsails	8	7	6	5
Spinnakers	6	5	4	3
Mizzen Staysail	1	1	1	1
Mizzen	1	1	1	1

※CDL(Class Division Length)は ORC-i 証書の 1 ページ目右下、ORC-club 証書も右下に記載

10. メインセイルとミズンをマストに上げたときにヘッドポイントはラフの一番高いところになくはいけない。またリーフは下からしなければならない ORC rule 207

(上からリーフするとヘッドポイントが一番高いところではなくなる)

11. Spinnaker は SetFlying で展開しなければならない。もしラフワイヤーがあるならば、ラフに完全に取り付けられセイルとラフワイヤーに間に隙間が無い事 ORC rule 209.1

12. パフォーマンスラインのスコアリングオプションを削除し、トリプルナンバーの Time on Distance を採用した ORC rule 403.1

※上記 10と11 のルール改正により、以下の様なセイルは認められない

